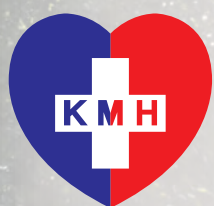


ひかり



Kikuna Memorial Hospital
News Letter

Contents



● 特集
年頭挨拶
新しい年を迎えて

● 看護部だより
● 画像診断部通信 vol.3
● KMH -NEWS-
● KMH -TOPIC-

特集 年頭挨拶 新しい年を迎えて

明けましておめでとうございます。

CORONAは未だ蔓延しており、医療従事者の感染（職場内よりも家庭内）も諸所で発生、例え二類相当を五類に格下げした所で感染が収まる筈もなく、国費支出が減るだけの話で、これがWITH CORONAの実態かと辟易としますが、我々ができる事は基本的感染防御策の徹底に加え通常診療を可能な限り維持し、医療機関としての責務を果す事しかありません。

財政支援の打ち切りが取沙汰される中、効率化と様々な工夫で新型コロナウイルス感染症対応を行いながら通常診療を伸ばした医療機関だけが「勝ち組」となっており、受療行動の変容が起きている環境下では、いかにPATIENT FIRSTを貫き、効果的な情報発信を心掛け、個々の守備範囲を広げて一步前に踏み出す姿勢の集積が、この三年間、我々が置かれている「負け組」からの脱却の唯一の処方箋であると考えられます。一昨年来、YMG本部では働き方改革への対応として多様な勤務形態の導入、頑張った人が報われる正しい人事考課制度、これに見合った教育制度の充実を計画し、魅力ある職場の醸成を目指しており、その実現のために様々な活動を開始しております。癸卯（みづのとう）の本年は「一つの物事が収まり、次の物事へ移行していく段階」とされ、卯年は「飛躍・成長の年」とされております。

従前にも増した皆様のご協力をお願い致します。

理事長 山本 登



院長
村田 升

「石の上にも三年」とは、辛抱、我慢にの喩えとしてよく使われる表現ですが、我々医療者にとっては「コロナの下にも三年」となりました。三年間、辛抱、我慢を続け、漸く今年は同感染症と共生の年になりそうです。

初動の頃に感じた暗闇を手探りで探りながら進む様な感覚は無くなりましたが、共生できるとは言え、新型コロナウイルス感染症が消えて無くなった訳ではなく、これからも創意工夫を重ねつつ共生の世に適應してゆく事になるのでしょうか。まだまだ気を緩めるわけにはいきません。

地域社会に貢献しつつ、さらに良い病院を目指すのが我々の使命、目標です。当院は急性期医療の提供に特化していますが、YMG（横浜メディカルグループ）の資源を活用し回復期、在宅医療を含む医療から介護の領域までカバーし、地域住民に貢献する事、これが本来の我々の仕事、姿の筈です。この三年間は此れ等が思うに任せず、忸怩たる思いを続けて来ました。さあこれから、と掛け声をかけつつ新たな年に挑戦していきたいと思っております。医療界には「地域医療構想」、「医師の働き方改革」、「データヘルス改革」、「医療DX改革」等のキーワードが溢れております。コロナ禍で疲弊した我々ですが、課題解決に更に前進！



看護部長
赤間 仁見

明けましておめでとうございます。

WITH コロナが進み、年末年始、コロナ禍前同様に楽しまれた方も多かったのではないのでしょうか？それでも陽性となれば症状の程度に関わらず、一定期間の就業制限は必要なため、特に院内の看護師不足は今も続いています。4月には、学生時代の3年間すべてをコロナ禍で過ごした新人看護師が入職してきます。人とのコミュニケーションを制限された中で看護を学び、現場で患者の前に立つことは、これまで以上に不安が大きいと思います。そして、こういった新人看護師を仲間として受け入れ、「看護師になってよかった」と思ってもらわなければ、看護師不足の問題は解決しません。コロナ禍はまだ続いています。今年はこれまでとは違うところに目をむけ、コロナ禍での自分たちの成長や成果を見つける年にしたいと考えています。そして、コロナ禍で頑張ってきた自分たちの姿を伝えることは、新人看護師にとっても勇気につながるものと考えます。看護部としても、コロナ禍の経験を自分たちの自信に変えられるよう、取り組んでいきます。どうぞ今年もよろしくお願い致します。



菊名記念AAクリニック院長
山本 芳子

明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症流行に加え、世界中に起こる戦乱・混乱、地球規模の天変地異に驚き、心痛む日々でした。医療関係では、続く同感染症の流行に疲弊しておりますが、YMGでは職員の皆様のたゆまぬ努力で何とか乗り切り、新年を迎えられました。深く感謝申し上げます。さて、今年の干支の『癸卯』は、新しい事に挑戦するのに適した年と言われています。新しい事が全て良いとは思っていませんが、未来を見据え、旧態然とした悪習や信頼関係のないハラスメントを廃絶し、新しいツールを学び取り入れ、職種・地位・年齢に関係なくその人・仕事を尊重して正しく議論し、多くの人が働きやすく活かされるような伸びしろのあるグループにしていきたいと思っております。本年もよろしくお願い申し上げます。

Happy New Year

2023

循環器センター長 本江 純子



明けましておめでとうございます。患者様に対して丁寧に説明し、最適な医療を提供できるよう真摯に取り組んでいきます。

循環器センター副センター長・循環器内科部長 武藤 光範



明けましておめでとうございます。本年も地域の皆様が安心して良い医療を受けることができる様、循環器内科チーム一同努力して参ります。本年も宜しくお願いします。

循環器センター副センター長・心臓血管外科部長 尾頭 厚



今年も患者様、地域の医療機関様の期待に応えられるよう、誠実さをもって日々の診療に取り組んで参ります。

下肢静脈瘤センター長 福田 智



当院では血管外科・皮膚科が連携した下肢静脈瘤治療の体制を構築しております。受診して良かった、安心できたと感じていただけるよう誠心誠意診療に取り組んで参ります。

消化器内科部長 花村 祥太郎



明けましておめでとうございます。患者様の不安や苦しみを解決できるよう、質の高い医療が提供できるように取り組んでいきます。よろしくお願い致します。

救急科 ER 室長 兼 外科部長 清水 一起



あけましておめでとうございます。虫垂炎の手術から癌の治療まで、今年も安全安心の治療を目指します。外科チーム一同頑張っております。よろしくお願い致します。

脳神経外科部長 石崎 律子



今年もいざという時に頼りになる医療体制の提供をし続けたいと思います。

整形外科部長 江黒 剛



あけましておめでとうございます。急なケガや頸・腰や関節の痛みなど、お困りの際は迅速に対応できるよう努めてまいります。今年もよろしくお願い致します。

泌尿器科部長 中里 武彦



明けましておめでとうございます。2年弱勤務させて頂きましたが、当院は初診から診断、治療、手術まで余計な待ち時間がなくスピーディーに提供できることが強みだと感じております。今年も頑張りますのでよろしくお願い致します。

総合診療科部長 勝呂 俊昭



あけましておめでとうございます。総合診療科では幅広い領域の患者さんに対して他専門科や様々な職種と連携しながら柔軟に診療してまいります。今年もどうぞよろしくお願い致します。

画像診断センター長、放射線科部長 劉 清隆



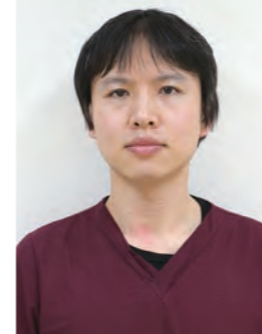
昨年末に 1.5T の MR 装置を更新し新機種となりました。今年も CT・MR 計 4 台体制で、地域の画像診断センターとして皆様のお役に立てるよう取り組んでまいります。

皮膚科医長 川名 愛



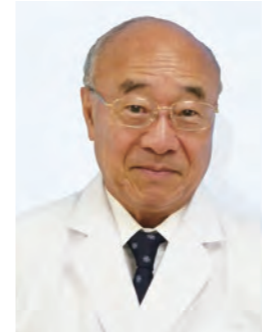
今年も小さな皮膚症状を見逃さず、他科と連携して患者様に寄り添った質の高い医療を目指して参ります。

麻酔科 朱 府佑



質の高さと効率性を両立した手術室運用を心がけていきます。

臨床検査科部長 五味 邦英



新年、あけましておめでとうございます。今年も卯年（うさぎどし）です、検査科のスタッフ一同、飛躍の年・大きな耳で情報を集め、日々前進し診療支援に努めます。

内科 兼 血液・腫瘍内科部長 藤岡 洋成



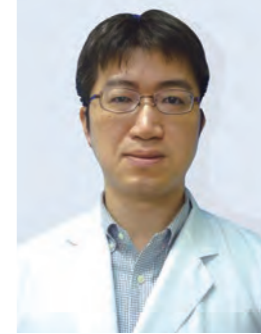
あけましておめでとうございます。昨年 4 月より内科と血液・腫瘍内科を専門としておりますが、地域の方々に貢献すべく、コロナ感染症診療にも携わっております。

精神科専門医・指定医 産業医 青山 恭子



ストレスが蔓延する中、皆様の精神の健康管理のお役に立てますよう努めて参ります。宜しくお願い致します。

病理診断科医長 内田 士朗



正確で質の高い病理診断を目指して邁進していきたくと思います。

乳腺外科部長 井手 佳美



今年も安心して質の高い医療をもって、皆様のご健康に引き続き貢献してまいります。当院乳腺外科では検診から診断・治療まで幅広いご相談に対応可能です。

当院の外来診療スケジュールはこちらからチェック！



左の QR コードをスマートフォンで読み取ってください。当院ホームページより最新の外来診療担当表がご覧頂けます！





事務長 谷口 大信



明けましておめでとうございます。本年も地域の皆様へ良質で信頼される高度医療の提供を職員が一丸となって取り組んでまいります。地域社会への貢献を通し、当院も発展・飛躍ができますよう努めてまいります。

医療安全管理室室長 新村 美佐香



明けましておめでとうございます。本年も引き続き安心して安全な医療が提供できるよう、医療チーム一丸となって医療安全の取り組みを進めてまいります。

薬剤部次長 金田 昌之



明けましておめでとうございます。本年も、患者様、地域の皆様に安心安全な医療を提供する為、薬剤師業務の充実、医薬品安全の推進に努めます。

画像診断部技師長 和田 吉弘



あけましておめでとうございます。昨年末に最新鋭の1.5T MRI 装置が導入されました。本年もより良い画像を提供し患者様の画像診断に役立てていきます。

栄養科次長 菊地 克巳



あけましておめでとうございます。患者様、地域の皆様に寄り添った栄養管理で、皆様の健康管理のお手伝いができる様に、スタッフ一同努めて参ります。

総務課課長 袖原 洋平 / 秋吉 真志



明けましておめでとうございます。地域の方々へ安心安全な医療を提供するために職員の採用、病院設備の管理に努めて参ります。



あけましておめでとうございます。地域の中核病院として持続可能な医療を構築するため、適時適切な取り組みを行ってまいります。

感染管理専従者 感染制御実践看護師 小畑 朋子



本年もよろしくお願い致します。感染症に対する対応は終わりがありません。病院を利用される皆様を、様々な感染症から守るための感染対策を継続してまいります。

臨床検査科技師長 三輪 友康



明けましておめでとうございます。様々な状況にも影響されることのない継続的な検査を提供し、質の高い地域医療への貢献にスタッフ一同全力で取り組んで参ります。

臨床工学科技士長 小野寺 貴志



明けましておめでとうございます。本年も医療機器管理を徹底し、患者様に安全安心な医療が届けられるよう努めてまいります。

リハビリテーション科技士長 吉川 拓也



明けましておめでとうございます。超急性期から、良質なリハビリテーションを提供できるようスタッフ一同取り組んで参ります。本年もよろしくお願い申し上げます。



医事課課長 森永 真彰



あけましておめでとうございます。質の高い医療に貢献できるよう事務スタッフ全員精進してまいります。本年もどうぞよろしくお願い致します。

診療録管理室係長 海野 幸子



明けましておめでとうございます。今年も安心して安全な質の高い医療へとつながる診療情報の管理に取り組んでまいります。

入退院支援室副看護部長 長谷川 紀子



明けましておめでとうございます。切れ目なく医療・看護・介護・情報をつなぎ、患者様が安心して入院生活を送れるように取り組んで参ります。

経理課課長 森 一博



明けましておめでとうございます。今年も信頼できる医療・組織作りに貢献できるよう精一杯努めて参ります。

メディカルクラーク主任 小関 美帆



あけましておめでとうございます。今年も患者様に快く診療を受けていただけるよう、医師の指導の下に、メディカルクラーク一同、誠心誠意努めて参ります。

経営支援室室長 小野寺 豊



明けましておめでとうございます。より医療の質向上を図れるよう、努めて参ります。宜しくお願い致します。

地域医療連携室課長 黒川 智



2022年12月より、地域医療連携室の責任者に着任致しました。当院がより一層地域医療に貢献できるよう邁進して参ります。本年もよろしくお願い申し上げます。

救急救命科係長 田口 雄一郎



新年明けましておめでとうございます。いまだ続くコロナ禍の中ではございますが、『断らない救急医療』をモットーに地域医療へ貢献ができるよう救急救命士一同努めて参ります。

物流管理課副主任 大津 新



新年あけましておめでとうございます。診療材料・消耗品等を安定供給し、安心して質の高い医療の提供に貢献できるよう努めて参ります。

医療相談室主任 武田 美樹



あけましておめでとうございます。本年も安心して療養生活を送って頂けますよう相談室一同努めて参ります。本年もよろしくお願い申し上げます。

「お互い様」の思いを持ちながら、コロナに対峙する

12月に入り、一つの病棟で複数の職員と患者様に陽性者が発生し診療を一部制限するなど、皆様には大変ご迷惑・ご心配をおかけしました。皆様のご協力もあり、その後は陽性者が増えることもなく、隔離期間を経て終息しました。これからも、日常生活を送る中で「新型コロナウイルス感染症にかからない」ということは防ぎきれませんが、自身が感染してもそれを院内で拡げないよう、感染対策を継続していきます。

感染対策の3原則

- ①「持ち込まない」：院内に入る場合のマスクの着用、手洗い・手指消毒を徹底する。
- ②「広げない」：適切なタイミングでの手指衛生や決められた防護具を正しく着用する。定期的に環境整備を行う。
- ③「持ち出さない」：使用したマスク、防護具、リネン類やごみは決められた方法で処理をする。

自宅でもできます!!



新型コロナウイルス感染症への感染は、1週間~10日間（症状の有無や検査結果により異なります）の就業制限が必要となります。看護師は、その人員が決まっていることから常に必要人数は維持しなければなりません。そのため、今回のように複数人の欠勤がでると、誰かがそれを補わなければなりません。誰も感染したことを責めることはできないので、かなり多忙ではありましたが、みんな「お互い様」という思いで乗り切ってきました。



一つの病棟の感染発生に、いろいろな部署が協力してくれました。看護部として、その人員の確保と各部署の運営は大変ではありますが、これまでの経験を活かして、これからも新型コロナウイルス感染症に対峙していきます。



管理された放射線は怖くない!!

Section.1 放射線の歴史

X線が1895年にドイツの物理学者のヴィルヘルム・コンラート・レントゲンによって発見されました。それから127年の時を経て現在ではCT装置、乳房X線装置、X線透視装置などに使われ、病気を診断・治療するうえで必要不可欠なものとなりました。X線が発見され当初はX線量の概念がなく放射線医師、看護師、放射線製造技師などで皮膚がん、貧血症、白血病などの障害が多く報告されました。そのため各国での放射線防護について考えられるようになり、1925年に放射線防護を行い放射線を安全に運用出来るよう現在のICRP（国際放射線防護委員会）のもとになる組織が作られました。そして日本の医療でより安全に放射線診療が出来るようにICRPなどの国際組織や様々な放射線診療に関わる学協会の協力により2015年に「診断参考レベル」が作成されました。

X線が発見された当時は放射線の量を測ることが難しかったが現在では測定方法が確立され様々な放射線量を測定することが出来るようになりました。

被ばく線量の比較（図1）では1回で受ける被ばくが100mSvを超えるとがん死亡のリスクが増えることがわかります。そのため出来るだけ被ばくを減らす必要があります。しかし、CT画像では放射線量を増やすと画像が綺麗になる特性（図2）があり最適化が必要です。図2は右側の方が左側より放射線量が多くなるように設定して撮った画像です。この最適化をするための目標値として「診断参考レベル（DRLs）」があります。これを指標として被ばく線量を抑えるために画像から病気を見つける放射線科医と、実際に撮影を行う放射線技師により最適化を行っています。（図3）は、当院のCT検査における被ばく線量と「診断参考レベル」との比較です。特に心臓検査ではCT装置の性能も大きく影響しますが当院では「診断参考レベル（DRLs）」よりも被ばくを抑えて撮影しています。

Section.2 CT検査における放射線最適化

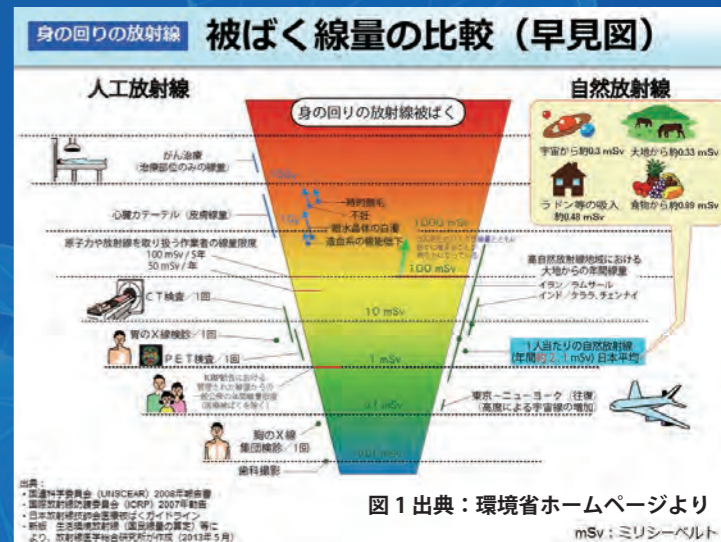


図2 線量と画質の変化

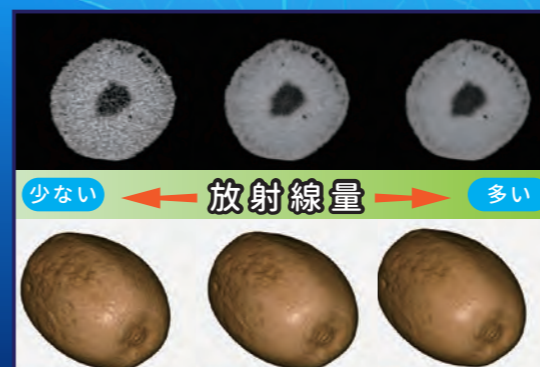
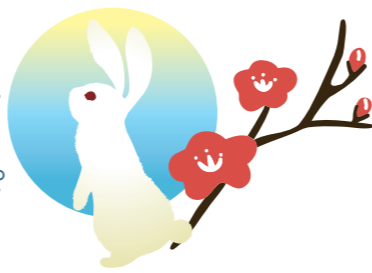


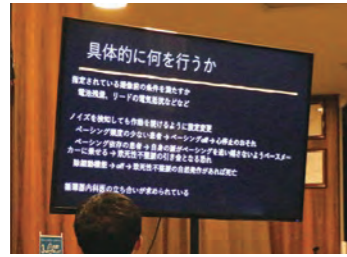
図3 <診断参考レベル>と当院の比較

	胸部		腹部		心臓	
	当院	DRLs	当院	DRLs	当院	DRLs
DLP [mGy・cm]	231.1	510	647.9	880	396	1300
実効線量 [mSv]	3.2	7.1	9.7	13.2	5.9	19.5



NEWS1 11/14 第148回院内症例検討会

第148回の院内症例検討会では『植込み型心臓デバイスとMRI』をテーマに、循環器内科の千葉 雄太医師の講義を受けました。ペースメーカー等の植込み後の患者様にMRI撮影を行なう場合のリスクや注意点など医療従事者として必要不可欠な情報が詰まった講義に一同真剣に耳を傾けました。



NEWS3 12/23 クリスマスプレゼント配布

今年も入院・外来の患者様へクリスマスプレゼントの配布を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響で様々な行事が制限される中、シンプルな形ではありますが、心を込めて配らせて頂きました。患者様からは笑顔もこぼれ、職員も温かな気持ちを感じることができました。



NEWS2 12/22 保育室 クリスマス

メリークリスマス★保育室でも、少し早めのクリスマス会をしました。サンタさんと笑顔で写真を撮ることもでき、プレゼントを受け取った子どもたちはにこにこでした！



NEWS4 イベントのお知らせ

3月23日(木)13時半～ 場所：篠原地区センター
第47回公開市民講座「認知症体操 ～おうちでできる頭の体操～」
過去に好評を博した講座が3月に待望の再開です。今回は予定があわず、参加できなかったという方もご検討を！定員10名・申込制です。詳細はHPで近日公開します。



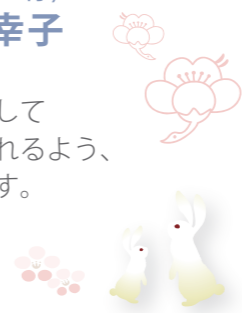
NEWS5 医局人事のお知らせ



個人の希望により写真の掲載は控えております

消化器内科 (12/1 付)
東畑 美幸子

患者様が安心して治療を受けられるよう、尽力いたします。



BREAK 診療担当表

当院の外来は完全予約制です。曜日別の診療スケジュール・ご予約窓口の番号はこちらのQRよりご参照ください。ケータイやスマホからアクセス可能です▶



BREAK 今月の表紙



1月号の表紙は…『木漏れ日と森』
まっすぐで力強い日差しが印象的な1枚。2023年の幕開けを彩る写真です。



1月から表紙のテーマが『雲とひかりと自然』に変わりました！四季ごとに多彩な表情を見せる空を中心に皆様へ癒しを届けます。

院内行事はすべて、定期的な検温 / 手指消毒 / マスク着用 / 三密回避の参加人数調整など、感染防止対策を徹底して実施しております。

KENSAN - 研鑽 - vol.6

当院では様々な人材育成研修に取り組んでいます。厳しいコロナ禍においても次世代スタッフを育てるべく工夫して立案し、参加者も真摯に研鑽を積んでいます。当コーナーではその学びの様子を紹介します。

KENSAN1 12/16 人材開発室主催研修 多職種研修 Vol.2 ～相互理解を深める～

3ヵ月程度の期間を設けて複数回実施してきた今年度の多職種研修ですが、実施してきたダイアログの中でメンバーの考え方にどのような変化が起きたのか、またそれを踏まえて自分達がこれからどういった事に取り組んでいきたいのかを発表してもらいました。部署間の垣根を越えて互いに共感していく事や、コミュニケーションの大切さを改めて感じる事ができ、意義の高い研修となりました。来年度も同様に企画していく予定です。



KENSAN2 12/17 看護部主催 第8回新人研修 安全な輸血療法を学ぼう！看護記録の基本を学ぼう！

今回は安全な輸血療法と看護記録の基本を行いました。どちらも看護師の業務の中では身近なものでありますが、特に輸血は「臓器移植」という概念から、安全な輸血看護について学ぶことができたと思います。また記録に関しては『記録なくして安全で質の高い継続看護はできない』という概念に基づき、どうすれば人に伝わる、そして質の高い記録が書けるのかという基本を押さえながら学ぶことができたと思います。この学びを今後の看護に活かしていきたいと思っています。



院内インフォメーション

KMH
TOPIC

皆様の2023年が健やかなものとなることをお祈りし、人間ドックのご案内を差し上げます。ご希望の方は、いつでもご相談ください。

人間ドックを積極的に受けましょう！

皆様を病気から守るのは、定期的な検査です。特に癌などの大きな病気は早期発見が治療の大切なカギとなります。健康チェックを習慣づけて、大病や生活習慣病から大事なお体を守りましょう！菊名記念病院では、ニーズに合わせた様々なコースをご用意しております。

【どんなコースがあるの？】

基本的な検査をする一般コースの他にご希望の検査をオプション追加したプランなど各種取り揃えております。

コース一例

一般コース

一般診察 / 身体・視力・血圧測定 / 肺機能検査 / 胸部レントゲン 他がセットになった標準的コース
¥42,000

一般コース+心機能

一般コースに心臓エコー検査を追加したコース
¥52,000

一般コース+肺機能

一般コースに胸部CTを追加したコース
¥63,000

お問い合わせ・ご予約先

ご予約や詳細はコチラのページから

045-402-7111 (人間ドック担当まで)

ご予約受付時間 平日/土曜 8:30 - 17:30



ぷちっと
コラム

【人間ドック、なぜ必要？】

人間ドックは「転ばぬ先の杖」です。飛行機や自動車は、事故を防ぐため定期点検をかかしませんね。人間も同じで、健康維持の為に必要なのは定期検査なのです。

編集後記

あけましておめでとうございます。2023年が始まりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。本年の干支は卯（うさぎ）です。当院は皆様の心身の健康のお役に立つべく、様々な分野の疾患や急性期の症状にうさぎの様にフットワーク軽く対応して参ります。また、新たな表紙テーマである『雲とひかりと自然』の癒しの力もお届けしていきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。 広報 宇田川

当院の基本理念

私たちの病院の使命—Mission—
質の高い急性期医療を通して地域社会に貢献します。



日本医療機能評価機構
認定病院 (3rdGVer.2.0)



JQA-QMA14243
ISO9001:2015
認証取得病院



ピンクリボン運動
を応援します。



地域医療支援病院
菊名記念病院

〒222-0011 横浜市港北区菊名 4-4-27
TEL : 045-402-7111(代) FAX : 045-402-7331
URL : <https://kmh.or.jp/> E-mail : kikuna@kmh.or.jp